

(公社)徳島県労働者福祉協議会

中央LSCニュース

発行：徳島中央ライフサポートセンター

発行責任者：板東 喜代子

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1

TEL 088-623-4105

FAX 088-678-4177

「キウイ収穫体験祭り」報告

と き 2017年11月18日(土) 10時30分から

と ころ 佐那河内村果樹オーナー「キウイ園」

参加者数 103名(幼児、スタッフ含む)

【概要】



「県民と働く者のとくしまフェスタ 2017」の一環として、県民の皆さんが家族やグループで楽しめる「キウイ収穫体験祭り」を行いました。

9月13日(水)から10月13日(金)まで当センターのホームページや電話で体験者の募集を行い、募集人員100名のところ164グループ438名の応募がありました。10月18日(水)厳正な抽選を行い40組107名の当選者を決定しました。

11月18日(土)の当日は、雨が前日から降り続き早朝は大雨模様でした。この為、参加者の方々からは開催を心配し沢山の電話がありました。開催時間には雨も上がり安堵したところです。参加者の方々は、天気を観て出発してこられたのか、遅れて来る方、不参加の方等様々でしたが、103名(幼児、スタッフ含む)と多くの方に参加頂きました。

オープニング式では、徳島中央ライフサポートセンター宮本会長から「徳島中央ライフサポートセンターは、地域の方々をサポートする地域福祉の拠点として活動を行っています。キウイ収穫祭りも行事の一つです。ただ、誰が悪いのでしょうか?また、雨の天気で開催となりました。キウイ園はぬかるんでいます。滑って怪我をしないように、キウイ園の上のほうまで行ってかご一杯にキウイを採ってください。」とのあいさつの後、「キウイ収穫体験祭り」が始まりました。



キウイ園の上のほうが大きくて多くのキウイが生っていることから、参加者の皆さんは、キウイ園の上のほうから入園し、大きなキウイや沢山生っているキウイの木の下へ。小さな子どもたちは、保護者の方に抱えられ一生懸命キウイを摘んでいました。籠が一杯になると神社の前で持ち帰りのビニール袋にキウイを詰めます。山盛りにしてキウイがゴロゴロ落ちる人も。

持ち帰り準備の出来た方々は、試食用キウイの味見や、スピードくじを引き景品を受取ると、三々五々解散し「キウイ収穫体験祭り」を終了しました。参加者の皆様お疲れ様でした。

また、当日は、雨の残る天候にも関わりませず、ご協力いただきました、園主の方々、スタッフの皆様ありがとうございました。



「リラクゼーション・ヨガ」講座を開催しました！

◇と き 2017年11月23日(木) 勤労感謝の日

午前10時30分～11時30分

◇ところ 徳島県労働福祉会館 別館5階 大ホール

◇参加者 26名

◇講師 徳島フィットネスラボ

阿部 ひとみ 先生 (ルーシーダットンインストラクター)

11月26日(木) 10時30分から、徳島県労働福祉会館 別館5階 大ホールにおいて「リラクゼーション・ヨガ」講座を開催しました。



徳島中央ライフサポートセンター 板東事務局長から「阿部先生は、タイ式ヨガ・ルーシーダットンのインストラクターです。ルーシーダットンには「仙人体操」という意味があり、ヨガに比べると体の動きを重視します。体をほぐす動きを行うことで、自然と精神面にも良い影響が生まれます。また、ルーシーダットンはヨガよりもシンプルと言われていいますので、初めての方には丁度よいかもしれません。周りを気にせずそれぞれのポーズで明日への活力を高めてください。」とあいさつの後、阿部ひとみさんの指導のもと、リラクゼーション・ヨガが始まりました。

まず、脳を目覚めさせるため「グー、パー、グー、パー、右手を前に右足前に、左手前に左足前に、右手を前に左手前に、右足前に左足前に、・・・」とヨガの始まりです。「左足を前に右足を曲げ、手は右手と左手を頭の後ろで組み顔は左足を見ましょう。」ゆっくり息を吸い・吐く腹式呼吸とアロマの効果で心も体もリラックス！「リラクゼーション・ヨガ」を楽しみ、参加者全員が明日への活力を得た一日でした。



まず、脳を目覚めさせるため「グー、パー、グー、パー、右手を前に右足前に、左手前に左足前に、右手を前に左手前に、右足前に左足前に、・・・」とヨガの始まりです。「左足を前に右足を曲げ、手は右手と左手を頭の後ろで組み顔は左足を見ましょう。」ゆっくり息を吸い・吐く腹式呼吸とアロマの効果で心も体もリラックス！「リラクゼーション・ヨガ」を楽しみ、参加者全員が明日への活力を得た一日でした。

ペットボトルのキャップで世界の子どもにワクチンを届けよう！！

エコキャップ運動にご協力ください！

エコキャップ運動は、2005年当時ボランティア活動をしていた神奈川県的女子高校生が「ペットボトル本体はリサイクルされているが、ふたはゴミに出すのがもったいない何かできないか。」と言う話から、集めたキャップの売却益をポリオワクチンを開発途上国へ贈るための運動に寄附しようとしたところから始まっています。

地球温暖化が進行するなか、ボトルキャップを分別回収することにより再資源化を促進し、CO2の発生を抑制でき、そしてキャップの売却益で世界の子どもにワクチンを届けることができるのです。

家庭や職場で集めたペットボトルのキャップを徳島中央ライフサポートセンターへお持ちください。

善意のキャップで世界の子どもたちを救いましょう！！

■暮らしなんでも無料相談■

専門のアドバイザーと連携して、あなたの暮らしを応援します！

ひとりで悩まないで、一緒に解決の糸口を見つけましょう！

◇法律相談 ◇一般相談 ◇金融・保険相談 ◇労働相談 など

TEL 088-623-4105 (徳島中央ライフサポートセンター)

